

(添付資料)

1. 再生骨材について

○再生骨材は、解体したコンクリート塊などを原材料とし、破碎、磨砕、分級等の処理を行って製造されたコンクリート用骨材(コンクリートやアスファルト混合物を作る際に用いられる材料)の総称。

○旭川事業所では、バイオマスボイラーから排出された焼却灰に、セメント、砂利、水を加えて混練、振動加圧成型機で成型したものを乾燥・養生、破碎して、再生骨材を製造している。



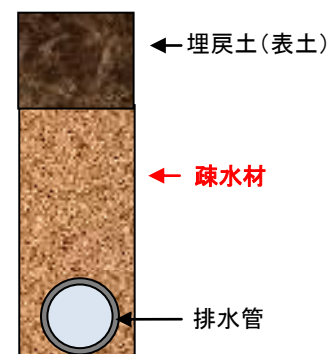
○旭川事業所で製造した再生骨材は、凍上抑制層(凍結防止のために路床に敷かれる層)や路盤材、盛土・埋戻し等に使用されている。

2. 暗渠について

○暗渠は、地下に埋設された水路のこと。泥炭地域など、水はけが悪い農地では、水はけを良くする目的で暗渠を設置している。

○暗渠の疎水材は、暗渠排水管に向かう通水路を確保するために設けられている。そのため、暗渠疎水材には、「透水性」(土等の物質が水を通す性質: 地中の余分な水を排水管に逃がす)と、「耐久性」(圧搾に強く、腐朽しにくい: 形状崩れや土砂混入が無いことで、通水路を確保する)が求められる。

○暗渠疎水材としては、木材チップやモミガラ、碎石・砂利など、その地域で入手しやすい資材が使用されている。



以上